

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

703-808

事務事業名	南信濃民芸等関係施設管理運営事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	美術博物館		包含する細々目	1	10	5	6	14	1	3,463
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり											
施策	63 地域資産の保存継承											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議								
		事業期間	17	年度～		年度						関連計画 条例等

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・飯田市民 ・南信濃民芸等関係施設(通称 遠山郷土館)	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	107000
		107844	107000			
		施設の数(館)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			1			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
・施設の維持管理を行う。 ・文化資源を保存し、展示する。	展示(月)	18目標	10	最終目標		
		18実績	10	19目標	10	
		23目標		23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	南信濃民芸等関係施設(通称 遠山郷土館)の維持管理運営を行う。南信濃の歴史・民俗・自然の姿と霜月祭を紹介しその伝統を保存伝承する。<参考>細々目名:南信濃民芸等関係施設費	・遠山郷の霜月祭用具等の展示ほか ・遠山郷土館の管理人賃金ほか(臨時職員1名)、館維持管理委託料、借地料	展示月	10
		18年度の実績		
	・遠山郷の霜月祭用具等の展示ほか ・遠山郷土館の管理人賃金ほか(臨時職員1名)、館維持管理委託料、借地料	展示月	10	
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	460	460
一般財源	3,064	3,463	
事業費計(A)	3,524	3,923	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間	0	0
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	3,524	3,923

特定財源内訳や補足事項	南信濃民芸等関係施設観覧料
-------------	---------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	保存・継承される(活かし続ける)	保存・継承されている地域資産の数(累計)	現状値	486	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	520
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
南信濃民芸関係施設は、平成2年度に農林水産省の補助事業である山村振興農林漁業対策事業により建設され、地域の活性化、農林漁業の振興、就業機会の増大、住民の所得の向上を図り、また歴史文化を守り地域に伝承されている文化財を保存伝習する目的で設置された施設であり、通称は「遠山郷土館」という。平成17年10月の合併で、飯田市に移管され、美術博物館の管轄となった。	合併から1年以上が経過した。	飯田市となった南信濃の自然・文化遺産について、資産化を求める声が高まっている。特に南アルプスを世界遺産にするよう運動している。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 関連事業あり (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			効率性 評価		
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	館の運営のあり方を平成19年度中に検討する。 上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	